

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島市立瀬野川中学校		
学校長氏名	小田原 順蔵	栄養教諭氏名	村井 晴香
職員数	35名	児童・生徒数	415名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

〈生徒の実態〉

- ・朝食摂取状況 毎日食べる 88.0%
- ・朝食主食+主菜+副菜摂取状況 毎日食べる 47.0%
- ・朝の排便状況 毎日出る 58.5%

・給食残食率の推移 (H25~H27) 単位 (%)

	H25	H26	H27
ごはん	18.0	17.3	13.8
パン	7.9	3.9	4.8
おかず	6.4	4.8	6.8

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

成果指標	朝ごはんを食べていない生徒を3%以下にする
目標値	3%以下

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 教科等における食に関する指導の充実に向けた取組について

〈瀬野川中学校における指導〉

	指導内容
1年	「野菜食べてますか？」（道徳）
2年	「1日に必要な栄養を満たす献立を考えよう」（家庭科）
3年	「どっちを食べる？～自分で選ぼう、自分の食事～」（道徳）

投票結果発表

第1位 新人に向けたカツカレー献立

【献立名】
カツカレー
牛乳
豚の肉



第2位 陣も心もポッカポッカ献立

【献立名】
ごはん
牛乳
広島お好み揚げ
豚汁



第3位 冬のさっぱり献立

【献立名】
小型バターパン
牛乳
海鮮上海風焼きそば
キャベツ
じゃこのサラダ



実施回数は11月と12月を予定しています。お楽しみに！

●2年家庭科
生徒が考えた献立から8献立を栄養教諭が選出し、文化祭で生徒・保護者・地域の方に投票をもらい、実際の学校給食で3献立実施した。

〈サポート校における指導〉

（概要）

中野小学校と畑賀小学校は、広島市のサポート校制度で本校が担当する学校となっており、給食管理のみならず、各校の食育推進担当者を窓口とし、食に関する指導についても連携を図っている。

	広島市立中野小学校	広島市立畑賀小学校
1年	どうしてすききらいをしないといけないのかな？（特別活動）	マナーをまもって たのしくしょくじをしよう（特別活動）
2年	さつまいもはかせになろう！（生活科と連携）	やさしいパワーをいただきます（特別活動）
3年	働く人々～給食室の仕事～（社会科と連携）	みんなで楽しく食事をしよう（特別活動）
4年	戦争中の人々の暮らし～食について～（社会科と連携）	よりよく成長するために大切なことを知ろう（保健体育）
5年	どんな食べ方がいいのかな？（家庭科）	
6年	地産産物を使った広島らしいメニューを考えよう（言語・数理運用科）	

【取組2】（テーマ） 生活習慣ステップアップカードの取組

（概要）

年に2回授業のある5日間で、「生活習慣」を取り上げた実態調査を行い、生徒自身が自らの生活習慣について振り返る機会とする。また、それらの調査結果に栄養教諭から生活習慣改善のためのアドバイスを加え、懇談会等で保護者へ返し、保護者に対しても意識づけをする機会とする。

調査カード

1. 1回目と2回目のステップアップカード

2. 2回目

3. 生活習慣ステップアップカード

4. 目標設定

5. 振り返り

項目	1回目	2回目	達成率
毎朝起床後、歯を磨く			
毎朝起床後、顔を洗う			
毎朝起床後、髪を洗う			
毎朝起床後、着替えをする			
毎朝起床後、手洗いを済ませる			
毎朝起床後、朝食を食べる			
毎朝起床後、水分を摂る			
毎朝起床後、体を動かす			
毎朝起床後、お風呂に入る			
毎朝起床後、寝る			

調査結果

1回目と2回目の結果を比較するレーダーチャート。



栄養教諭からのアドバイス。

各項目について、1～3年生の年次推移。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○12月8日、学校給食週間中に「タコタコライス」を提供。広島市の推進する「わ食」事業と関連付け、みんなで食卓をかこむ「輪食」献立としても、給食日誌、掲示物を通して紹介した。

給食週間掲示物	「タコタコライス 牛乳 卵スープ」
12/8	 <p style="text-align: center;">輪食 みんなで食べる</p>
	<p>家族や仲間と一緒に食卓を囲むことで、楽しく食事をすることができます。また、地域の祭りのなかで食事をすることは絆を深めたり、食文化の継承に役立ってきました。ひろしま給食100万食プロジェクト統一メニューであるこの献立を食べて、楽しみながら広島を味わいましょう。</p>

5 取組に対する成果と課題

【成果】

○食育に係る目標成果指標（第2回生活習慣ステップアップカード集計結果より）

成果指標	朝食欠食生徒を3%以下とする
目標値	3%以下
本年度の結果	朝食欠食生徒が3%以下（ 0.8% ）

○朝ごはん及び野菜の摂食に関する調査（第2回生活習慣ステップアップカード集計結果より）単位（%）

	毎日食べた	週4日食べた	週3日食べた	週2日食べた	週1日食べた	食べなかった
朝ごはんを食べた	89.7↑	4.6	1.8	1.8	1.3	0.8
朝ごはん野菜をたべた	46.8	12.3	10.7	8.7	7.2	14.3

○排便に関する調査（第2回生活習慣ステップアップカード集計結果より）単位（%）

	週5日あった	週4日あった	週3日あった	週2日あった	週1日あった	なかった
排便	60.3↑	10.5	12.9	8.9	4.7	4.5

・ステップアップカード実施前に、朝ごはんレシピを配布したためか、朝ごはんの摂食率は上昇している。また、排便状況はよくなってきている。

○給食の残食率（平成28年4月～平成29年1月）

	ごはん	パン	おかず
残食率（%）	12.4↓	3.5↓	3.9↓

・ごはん、パン、おかずの残食率は全て減少傾向である。また、過去4年間で一番低くなっている。

【課題】

○教科等における食に関する指導の充実について

・サポート校での授業は、全学年実施ができなかった。また、昨年度から課題でもある、言語・数理運用科で児童が考えた給食を実施することができなかった。

○生活習慣ステップアップカードについて

・調査カードの項目が多く、記入に時間がかかっている。振り返りの時間を十分とれていない。
・朝ごはん野菜を取り入れることができていない。

○給食の残食率について

・前年度と比べると減少傾向だが、広島市の平均と比べるとまだ高い。特に、丼物のときのごはんが多く残る。

6 今後の取組に向けた改善方策について

○教科等における食に関する指導の充実について

・今年度実施していないサポート校へは、他校での授業などを紹介して、授業数を確保できるようにしたい。
・言語・数理運用科の給食については、小中連携を生かし、中学校区として進められるようにしたい。

○生活習慣ステップアップカードについて

・調査カードの項目をしぼり、全校朝会等でステップアップカードの趣旨を説明する時間をとる。
・朝ごはんレシピの配布を継続する。

○給食の残食率について

・広島市の献立では、中学校の丼物の時の主食重量を100gに設定していたが、丼物の具との割合を考慮し、献立ごとに主食重量を再検討する。
・来年度は4月から、各学年の残食率を表すグラフを作成し、残食率の推移が見えるようにしたい。
・今年度同様、給食の残食を給食委員会の生徒に計量させ、残食率を減らそうという意識をもたせたい。